



Agilent 1260 Infinity II Prime LC

1260

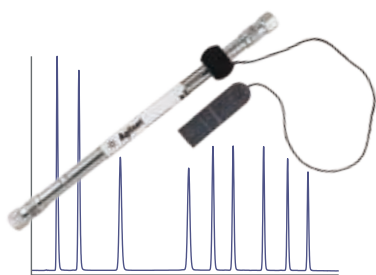
ワンクラス上の快適さを提供する
最新鋭スタンダード HPLC



Agilent Technologies

ワンクラス上の快適さと生産性

Agilent 1260 Infinity II Prime LC は、1260 Infinity II LC ポートフォリオの中で最高の機能性と利便性を誇る LC です。Agilent 1290 Infinity II の優れた技術を備え、豊富な機能と優れた操作性によって日常的な分析作業に最適な LC です。



ワンクラス上の 分析効率

低ディレイボリューム、最大 80 MPa の圧力範囲、分析に適した混合比での高精度な送液が可能なクォータナリポンプにより、日常の分析の精度と真度をワンクラスアップさせることができます。



ワンクラス上の 機器効率

新製品コントローラである LC コンパニオンは持ち歩き可能で、ラボのあらゆる場所から装置をコントロールできます。自動化されたカラム選択とサンプル設定の機能と組み合わせることで、ワンクラス上の信頼性の高い分析を実現します。



ワンクラス上の ラボ効率

インテリジェントシステムエミュレーション技術 (Intelligent System Emulation Technology: ISET) により、さまざまな他社システムからシームレスにメソッド移管が可能です。このシステム 1 台で、旧システムに置き換えることも、将来のメソッド開発に備えた新しいスタンダード LC として利用することも可能です。

AGILENT INFINITYLAB:

トータルソリューション

Agilent InfinityLab の機器、カラム、消耗品のシームレスな連携と、Agilent OpenLAB ソフトウェアおよび Agilent CrossLab サービスが、きわめて効率的なワークフローを実現します。Agilent InfinityLab カラムおよび消耗品は、Agilent InfinityLab LC シリーズと連携し、高効率およびラボ安全性のための性能を最適化します。



詳細情報: www.agilent.com/chem/1260prime #EfficientUHPLC でアジレントの Twitter をフォロー

ワンクラス上の快適さと精度

Agilent 1260 Infinity II Prime LC の最新の機器性能、カラム、消耗品が組み合わさることで、きわめて高い分離能と確実な分析結果を提供します。

高い精度と真度

1260 Infinity II フレキシブルポンプは流量 5 mL/min、最大圧力 80 MPa の範囲で優れた性能を発揮します。また、シームレスなメソッド移管が可能な ISET 機能、思い通りのバッファー濃度を自動調整可能なブレンドアシスト機能を搭載しています。



システムパージなどの自動化を実現

内蔵の InfinityLab 多目的バルブによって、ソフトウェアからミキサーを自動的にバイパスして、システムパージすることも可能です。

ルーチン手順の簡素化

Agilent InfinityLab アンチドレインフィッティングにより、メンテナンス等で溶媒チューブをポンプヘッドから外す際のチューブからの液漏れや、ポンプ内に気泡が入ることを防止できます。



確実な分離

InfinityLab Poroshell 120 カラムは分離の効率と信頼性が非常に高く、またカラムに取り付けられた InfinityLab カラム ID タグによってカラムの使用状況や詳細情報が記録されるため、より優れたトレーサビリティを確保することが可能です。さらに、InfinityLab クイックコネクTFITTINGにより、常にリークのない確実な接続が可能になります。



高いサンプルキャパシティ

1260 Infinity II マルチサンプルはバイアルやマイクロタイタープレートの両方に対応し、最大で 6144 サンプルを収納できるキャパシティを有しています。



溶媒の取り扱いが簡単に

溶媒ボトルは人間工学に基づく持ちやすい設計であるため、移動相を簡単に取り扱うことができます。また、InfinityLab セーフティキャップによって、溶媒の蒸気が空气中に漏れるのを防ぐことができます。

LC のトータルコントロール

Agilent InfinityLab LC コンパニオンから LC システムのトータルコントロールが可能です。また、LC コンパニオンは自由に持ち運びができ、ラボ内の装置をリモートコントロールすることも可能です。

あらゆるアプリケーションに対応

紫外可視、蛍光、屈折率、蒸発光散乱検出器、さらに新製品の Agilent Ultivo トリプル四重極 LC/MS や、LC/MSD などの質量選択検出器と自由に組み合わせることができ、幅広いアプリケーションに対応可能です。



効率的なカラム選択/切り替えが可能

1260 Infinity II マルチカラムサーモスタットには、最大 4 本の 30 cm カラムを収納可能です。また、オプションで InfinityLab クイックチェンジスイッチングバルブを内蔵することができ、カラムの自動切り替え等、多彩なバルブソリューションの提供が可能です。

要望に合わせて自由にシステム構築が可能

InfinityLab ベンチトップによってシステムへのモジュールの挿入や、取り出しが容易に行えるようになります。要望に合わせたシステム構築の作業が簡単になり、生産性をさらに高めることができます。

専用ソフトウェアによるラボの生産性向上

アジレントは、1260 Infinity II Prime LC の性能を十分に活用するソフトウェアとインフォマティクスソリューションを提供しています。さらに、シームレスなメソッド移管と段階的なアップグレードパスにより、ラボの現行のインフラストラクチャにリスクなしで容易に統合し、予算内で中断なく、より高い装置性能を持つシステムに移行させることが可能になります。

コントロール、データ採取、レポート作成を効率化

Agilent OpenLAB CDS ソフトウェアは、機器のコントロール、データの管理、高度なレポート作成など、包括的な 1260 Infinity II Prime LC システムの管理と結果データのトレースを可能にします。さらに多くの情報の解析が必要な LC/MS アプリケーションの場合は、Agilent MassHunter ソフトウェアを利用すれば、Agilent LC とトリプル四重極または TOF および Q-TOF LC/MS、およびパワフルな機能を備えた包括的なデータ解析ツールをすべてコントロールできます。



ピークエクスプローラ機能によって、問題のあるクロマトグラムをすばやく発見し、問題解決につなげることができます。膨大なクロマトグラムやピークの中から、異常を一目で見つけ出すことができます。

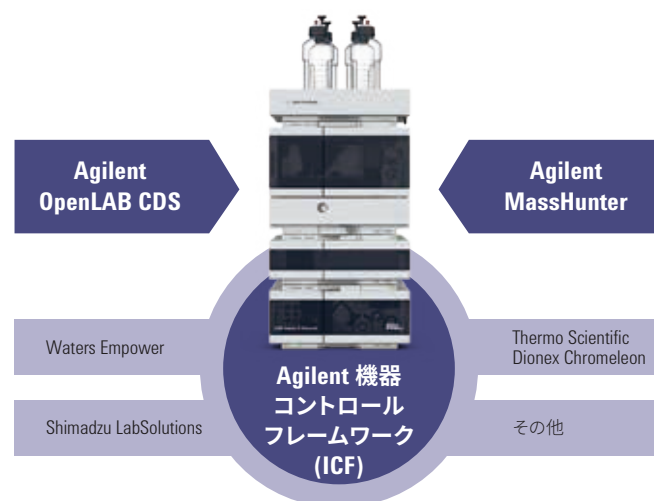
思い通りのバッファー調整が可能

Agilent ブレンドアシストソフトウェアによって、思い通りのバッファー濃度を自動で正確に調整することが可能です。バッファー濃度をスカウティングしながらのメソッド開発や、異なるバッファー濃度でのメソッド変更の自動化が実現できます。



包括的な機器コントロール

アジレントの機器コントロールフレームワーク (ICF) は、アジレントのオープンシステムに対する積極的な取り組みから生まれたソフトウェアコンポーネントです。ICF を利用することで、他社製の CDS またはワークステーションから Agilent LC コントロールを迅速に開始できます。ICF を利用することで 1260 Infinity II Prime LC についても、ご使用の CDS にシームレスに統合でき、最新機器が持つ高度な機能をすぐに利用開始できます。



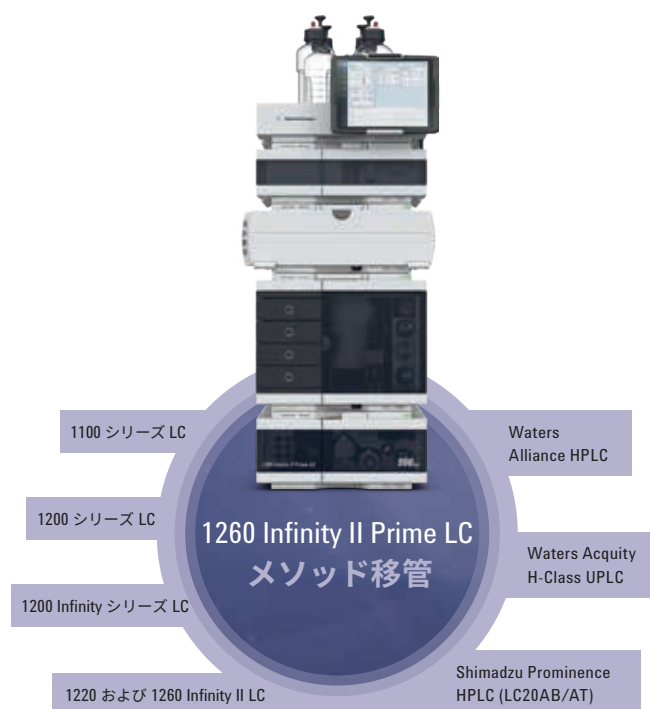
1260 Infinity II Prime LC のコントロールには、OpenLAB CDS または MassHunter ソフトウェアが最適です。また、アジレントの ICF 技術を利用すれば、他社製の CDS から簡単に 1260 Infinity II Prime LC をサポートできます。

シームレスなメソッド移管

以前は Agilent 1290 Infinity II LC でのみ利用可能だったインテリジェントシステムエミュレーション技術 (ISET) が、1260 Infinity II Prime LC にも組み込まれました。ISET により、最先端の UHPLC システムで、従来の HPLC と同じ分析結果を得ることができます。操作はマウスを数回クリックするだけです。ISET を使えば、もともとは他の HPLC や UHPLC システムで開発したメソッドをそのまま利用して同じ分離能やリテンションタイムでのクロマトグラムの採取が可能です。

メソッド開発の生産性が向上

UHPLC の持つ高い性能でメソッド開発を迅速化し、ターゲットシステムにエミュレーションして、メソッドの微調整が可能です。



1260 Infinity II Prime LC の持つ UHPLC のスピード、分離能、感度を最大限に活用したアジレントのインテリジェントシステムエミュレーション技術を用いることで、従来のメソッドの再現/移管をスムーズに行うことが可能です。

MS ベースのルーチン分析ワークフローに最適な LC

アジレントの新製品 Ultivo トリプル四重極 LC/MS システムは非常に小型でありながら優れた高性能を誇り、1260 Infinity II Prime LC と併用すれば占有スペース内のサンプルキャパシティを 3 倍に増やすことができ、ラボの生産性を大幅に高めることが可能です。

あるいは、アジレントの新しいシングル四重極 LC/MSD または LC/MSD XT システムにもベストマッチしたシステム構築が可能です。



ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタマコンタクトセンタ

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社

© Agilent Technologies, Inc. 2017

Printed in Japan, June 15, 2017

5991-8122JAJP